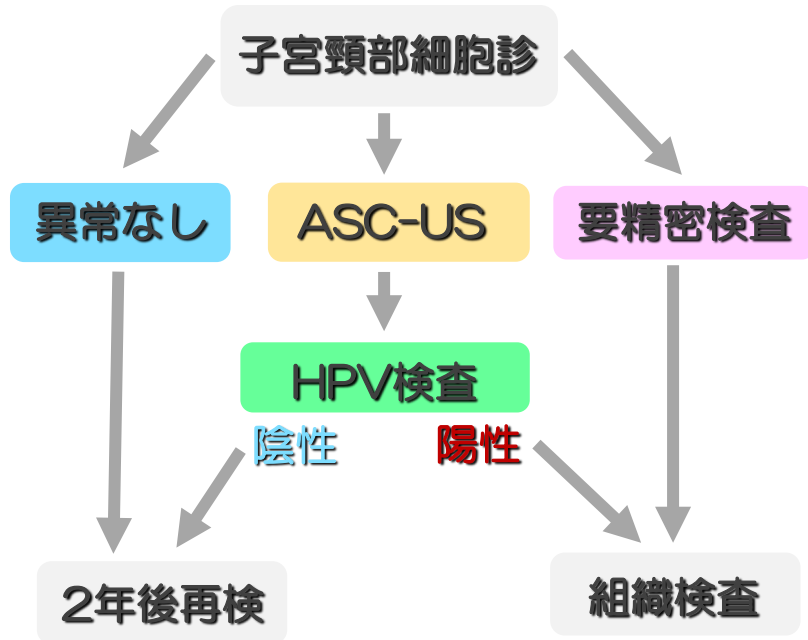


# 子宮頸がん検診



日本人女性における子宮がんの発症は  
2019年罹患数 29,136人（第5位）  
2022年死亡数 7,157人（第6位）

※国立がん研究センター報告  
（子宮頸がん+子宮体がん）

子宮頸がん検診では、がんになる前の  
子宮頸部異形成（前がん病変）で  
発見することが目的です。

すこやか検診では、上図に沿って細胞診とHPV検査を行います。  
20歳から60歳までの女性が2年ごとに対象になります。

定期接種となったHPVワクチンと併せて、  
近い将来子宮頸がんは征圧できる可能性も指摘されています。

小6～女子にはワクチンを、20歳になったらがん検診を！